

# 20 道路・地域交通網の整備



## 現状

本村を通る国道・県道の状況（令和3年4月1日現在）

国道	実延長：99,550km
県道	実延長：26,754km

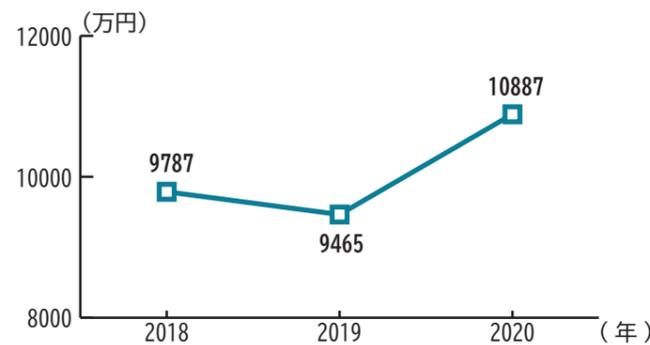
村道の状況（令和3年4月1日現在）

路線数	487 路線
実延長	502,897.1km
改良率	3.5%
舗装率	52.9%

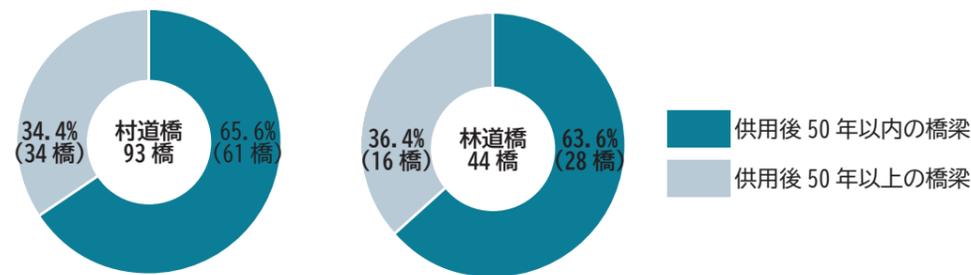
林道の状況（令和3年4月1日現在）

路線数	35 路線
実延長	233,639.2km
改良率	11.5%
舗装率	63.5%

村道・林道の維持管理費用の推移（重機借上料、維持工事費、維持用資材費の合計）



本村が管理する橋梁の状況（令和3年4月1日現在）



本村が管理するトンネルの状況

トンネル数	1 箇所（林道中山夜狩内線：中山トンネル）
実延長	2,452m
供用後50年以上のトンネル	0 箇所

（資料：建設課）

## 目標

村民の安心・安全のために重要な社会資本である道路整備を推進し、誰もが安心して通行できる交通環境を実現します。

\* 交通安全に関する取り組みは分野「2. 防犯・防災体制の充実」に掲載しています。

数値目標	2020年度 (実績)	2026年度 (目標)	備考
道路環境に対する住民満足度	46.8%	50.0%	第6次椎葉村長期総合計画の策定に向けた住民アンケート結果報告書(2021年4月)
交通網に対する住民満足度	54.2%	56.7%	
年間改良件数 <b>村道</b>	17 箇所	20 箇所	
年間舗装件数	<b>村道</b>	7 箇所	10 箇所
	<b>林道</b>	1 箇所	2 箇所

関連する個別計画 なし

## 行動指針

(1)(2) について  
改良及び舗装実施箇所の増加のためには財源確保が重要です。国・県の補助事業を注視しながら県と連携を図りつつ事業採択を受けることで財源確保を目指します。

住民ニーズに幅広く対応した改良及び舗装の実施が必要であり、そのためには職員の技術力の向上はもちろんのこと、日頃から道路状況を把握し限られた予算の範囲内で効率的な事業実施を目指します。

(3)～(5) について  
交通事業者と連携し、住民のニーズに対応した路線型・区域型の自家用有償旅客運送の多様な運航形態を検討し、必要な移動手段の確保を目指します。また、近隣市町村と協力し、広域的路線である上椎葉塚原線の維持・利用促進を図ります。

## チーム



## 施策の体系

### 道路を整備する

安全性と利便性の観点から、村道・林道の整備を行います。特に未整備区間の改良整備を促進します。また、開設して長期間経過する橋梁や構造物等については予防保全型の修繕による長寿化を図ります。

	2020年度 (実績)	2026年度 (目標)
道路環境に対する 住民満足度	46.8%	50.0%

### 交通手段の選択肢を準備する

村営バスの村内運行、宮崎交通の日向市 - 椎葉村間の定期便の2種類が公共交通機関です。また、2021年度からは村内タクシー事業を行政から椎葉村観光協会へ委託しています。既往体制の維持を図るとともにテクノロジーを活用した代替的な手段についての導入も前向きに検討していく必要があります。

	2020年度 (実績)	2026年度 (目標)
交通網に対する 住民満足度	54.2%	56.7%

#### (1)国県道について

改良等の要望活動を推進していきます。

#### (2)村林道について

(新設)住宅まで道路を開設する集落道開設の推進や、森林の整備・保全を目的とした林道の開設を進めていきます。  
(維持・改良・復旧)  
道路機能の維持や改良による利便性向上。災害時の早期復旧を行います。

##### 【主な事業】

道路橋梁災害復旧費 村道改良舗装事業

	2020年度 (実績)	2026年度 (目標)
村道・林道改良 舗装件数/年	25	32

その他、道路交通環境の安全性に関する取り組みは分野「2. 防犯・防災体制の充実」に掲載。

#### (3)バスについて

【主な事業】村営バス運行事業費

#### (4)タクシーについて

路線型・区域型の自家用有償旅客運送の多様な運航形態を検討し、必要な移動手段の確保を目指します。

【主な事業】高齢者および障がい者タクシー利用補助金交付事業  
自家用有償旅客運送事業

#### (5)自家用車・その他交通手段について

次世代自動車(電気自動車)の普及等、環境変化による新たなインフラニーズに柔軟に対応します。